

2015.6.20

## 創立者マザーテレジア・ゲルハルディング어의誕生日によせて

今日 6月20日は、ノートルダム教育修道女会創立者イエスのマリアテレジア・ゲルハルディング어의誕生日です。

神様は、一人ひとりの人間にそれぞれ独特の夢を描き、使命を与えて創造されました。ひとりひとりの誕生日は、その人に与えられた“いのち”の恵みを寿ぎ、その素晴らしさを祝う日です。誰にとっても、その誕生日は、素晴らしい喜びの日です。

ノートルダムに属する者は、創立者マザーテレジアの誕生を祝うとき、200年以上前に生を受けた一人の女性によって与えられた人々への影響を、改めて感嘆させられます。

「人が変われば世界が変わる」という信念を持って教育修道女会を創立した人。彼女に魅せられてその修道会に属し活動した何万という女性たち、世界の国々で、(現在は30を超える国で)彼女の後継者たちは、教育を通して数えきれない人々の可能性を開花させ、社会に貢献する人々を支援しています。

学校法人ノートルダム女学院では、去る5月9日にノートルダム3校合同研修会を開きました。大学・中学高等学校・小学校の教職員が、一堂に会して「ノートルダムにとってのグローバルとは」というテーマで京都大学准教授 塩瀬 隆之氏の基調講演を聞き、全員で真剣に語り合いました。この1日で明確な回答が出たわけではありません。しかし、皆で一丸となって「ノートルダムにとってのグローバル」について考えるための自覚が芽生えたと思います。

グローバルな人とは、「どのような人、自分とはあらゆる面で全く異なっている人にも真摯に向き合い、違っている事を許容する心をもって関わる」姿勢が基盤にある事が、私にとっては、印象的でした。そして、それこそ私たちが創立者マザーテレジアから連綿と受け継いできた教育の根本姿勢であり、21世紀のニーズに応える人材育成のカギでもあることに気づかされました。

どうかマザーテレジアが、ノートルダム教育に従事するすべての人々のため、必要な恵みを取り次いでくださいますように。

学校法人ノートルダム女学院

理事長 和田 環